

あなたのいちばんに。



ふくおかフィナンシャルグループ

個人投資家向け 会社説明会

ふくおかフィナンシャルグループ

2019年度 夏

東証第1部・福証上場
証券コード：8354

1. FFGの概要

P.1

2. FFGの強み

P.7

3. FFGの成長戦略

P.17

4. 業績予想・株主還元

P.27

5. 最後に

P.34

（参考資料）

P.39

商号

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ **(略称：FFG)**

設立

2007年4月2日

所在地

福岡市中央区大手門一丁目8番3号

従業員数

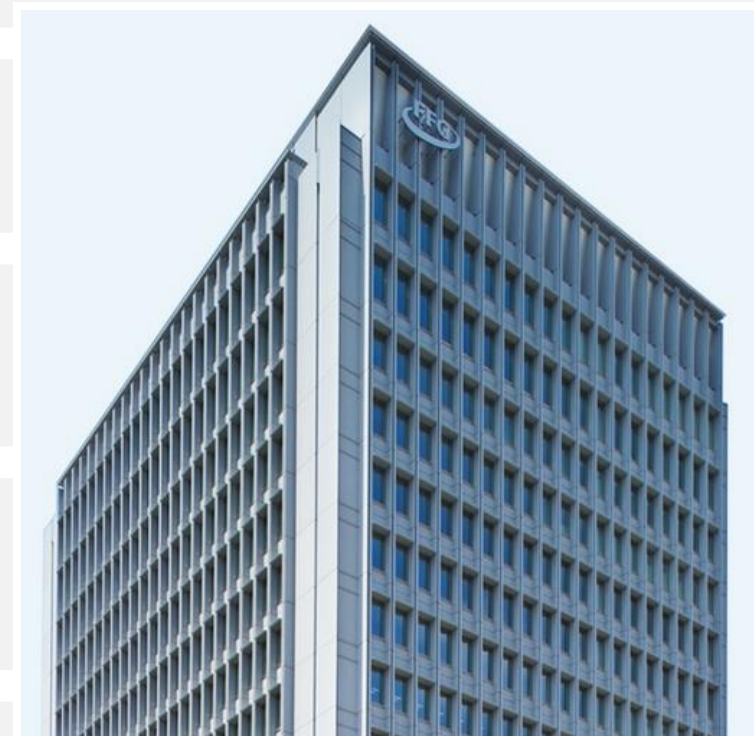
8,129人（4行合算）

上場

東京証券取引所第1部・福岡証券取引所上場（証券コード：8354）

時価総額

3,826億円 **東証1部上場企業 約3,800社中 290位**



福岡銀行

創業：明治10年
(1877年)

十 七

筑 邦

嘉 穂

福岡貯蓄



熊本銀行

創業：昭和4年
(1929年)

熊本無尽

肥後無尽



親和銀行

創業：明治12年
(1879年)

和 親

九十九

佐世保

佐世保商業

九州無尽



18bank 十八銀行

創業：明治10年
(1877年)

十 八

口之津

長 崎

有 家

諫 早

長崎貯蓄



4つの銀行を1つの銀行のように運営 (シングルプラットフォーム・マルチブランド)



- 2007年 4月 設立（福岡銀行・熊本ファミリー銀行）
- 2007年10月 親和銀行が加入
- 2013年 4月 熊本ファミリー銀行から熊本銀行へ行名変更
- 2019年 4月 **十八銀行が加入**
- 2020年10月 **十八親和銀行誕生予定（親和銀行と十八銀行合併）**

FFGの目指す姿

九州全体での地域経済発展への貢献

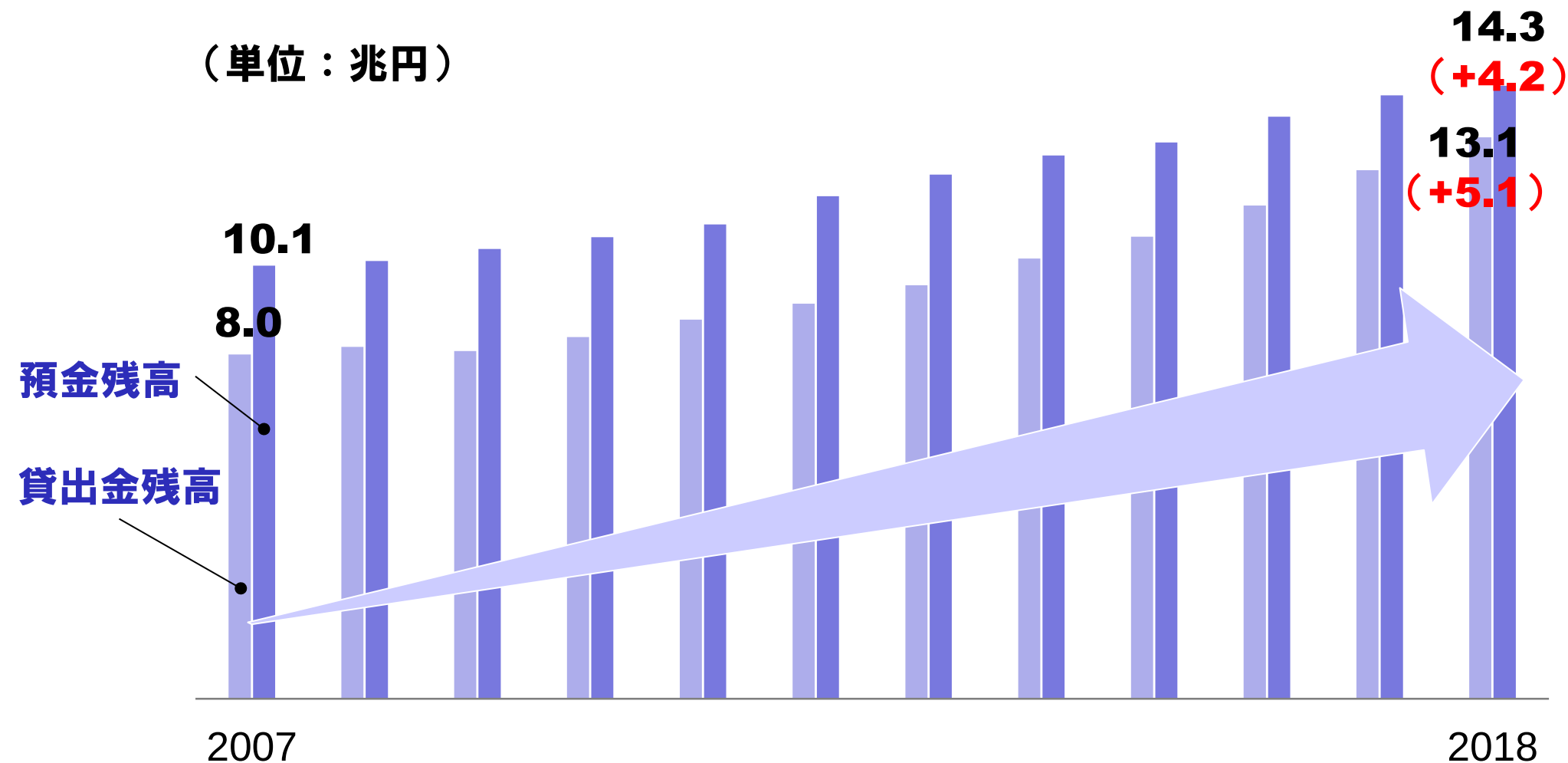


預金・貸出金の推移

2007年のFFG設立以降、着実に業容を拡大

【預金】約1.4倍 【貸出金】約1.6倍

(単位：兆円)

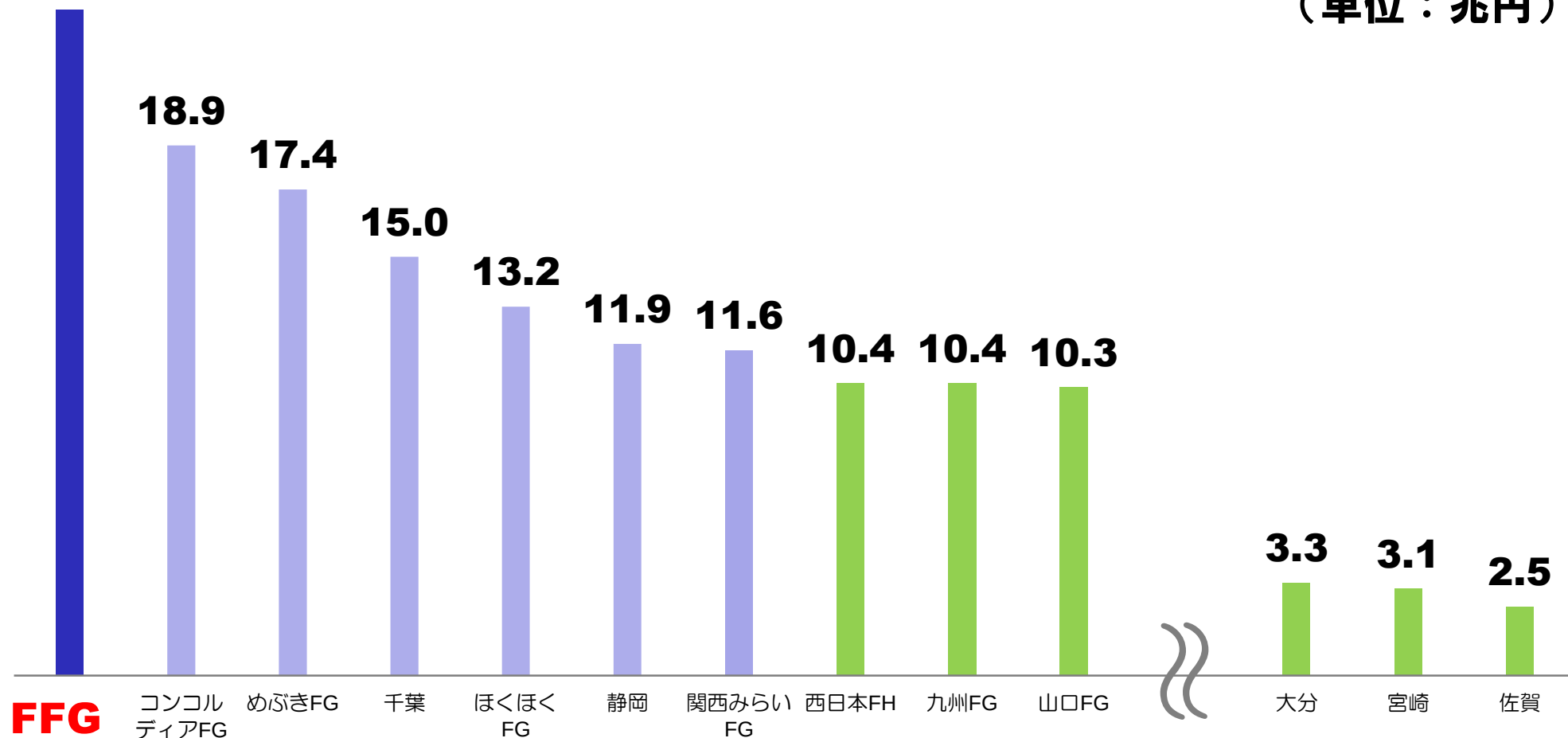


地銀総資産規模 NO.1

23.8

総資産（連結）

（単位：兆円）



※緑色の棒グラフ：九州に拠点を置く地方銀行

（出所）各行決算短信（2019年3月末時点）

1. FFGの概要

P.1

2. FFGの強み

P.7

3. FFGの成長戦略

P.17

4. 業績予想・株主還元

P.27

5. 最後に

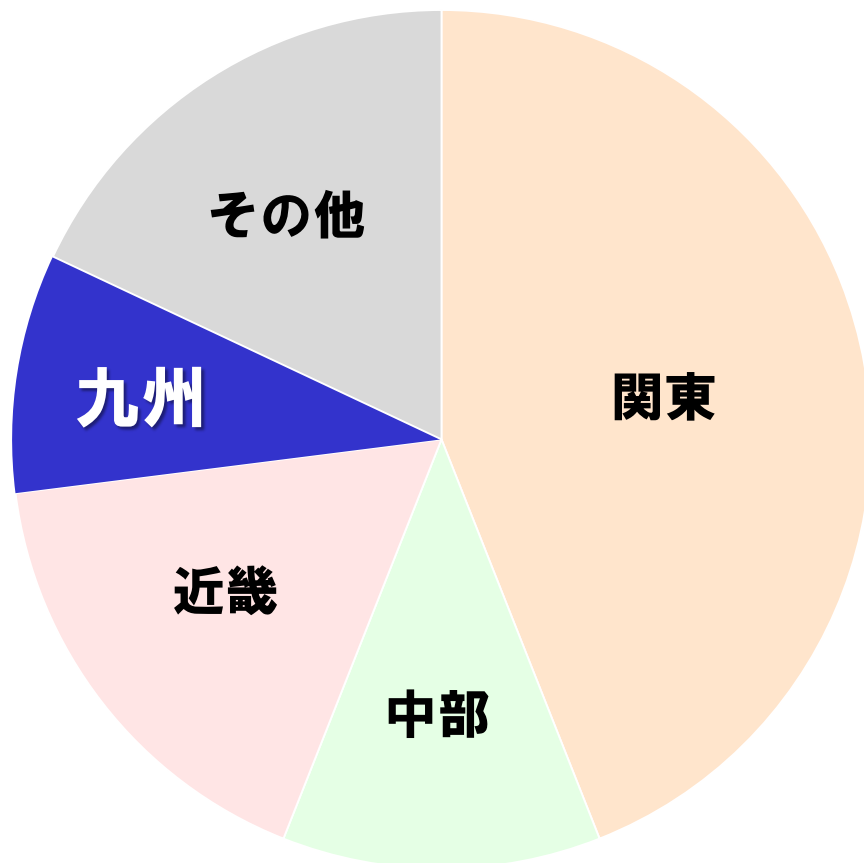
P.34

(参考資料)

P.39

3大都市圏に次ぐ経済圏 (経済規模は全国の約1割)

地域別GDP

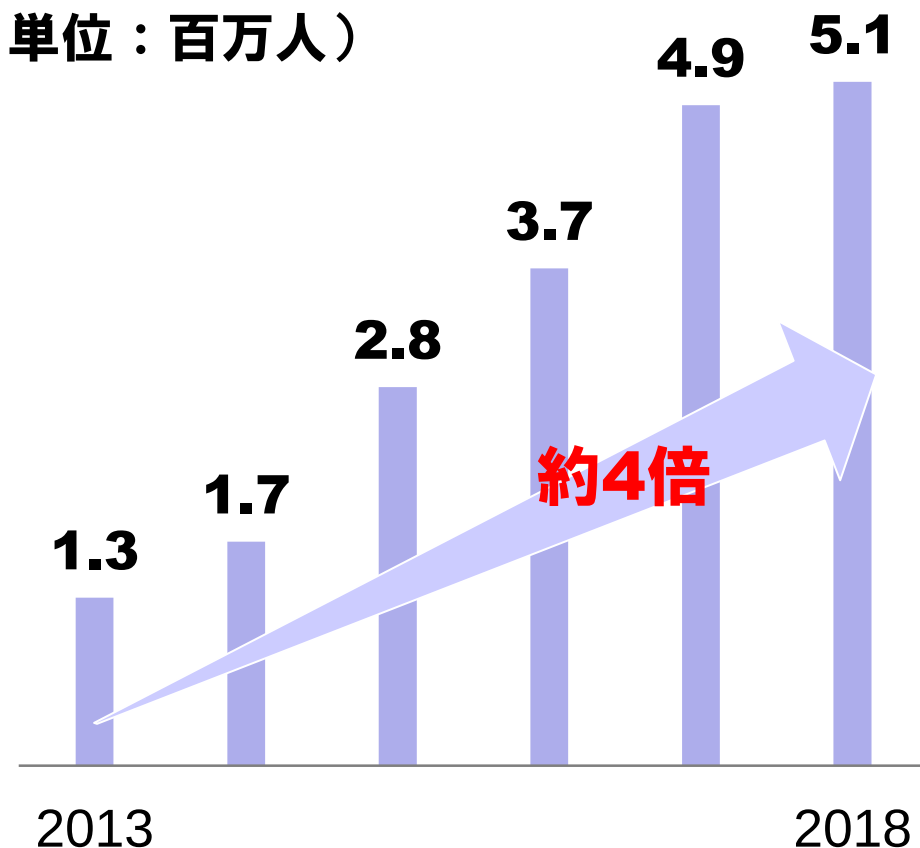


(出所) 九州経済産業局

外国人入国者数は 7年連続で過去最高を更新

外国人入国者数

(単位：百万人)



(出所) 国土交通省 九州運輸局 8

多様な産業の集積と一体化が進む地域経済



九州新幹線の全線開通



自動車
自動車生産台数 国内シェア

約15%

半導体
IC生産額 国内シェア

約30%

食品
農業産出額 国内シェア

約20%

空港・高速道路・鉄道整備

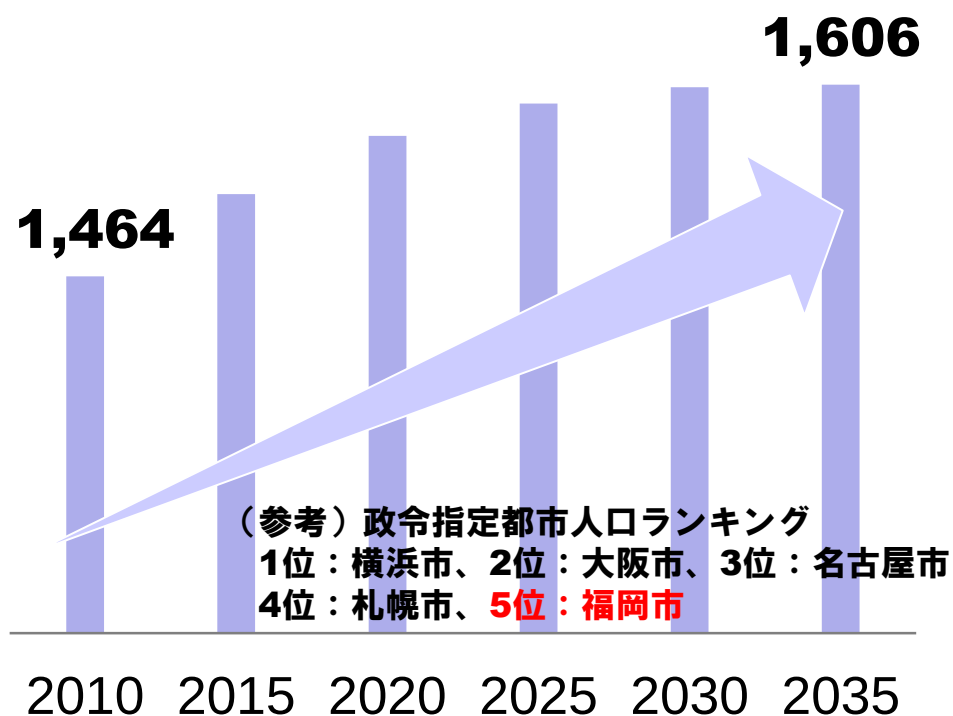


福岡の可能性 ①

2035年まで人口が増加
(人口：政令指定都市 第5位)

人口推計（福岡市）

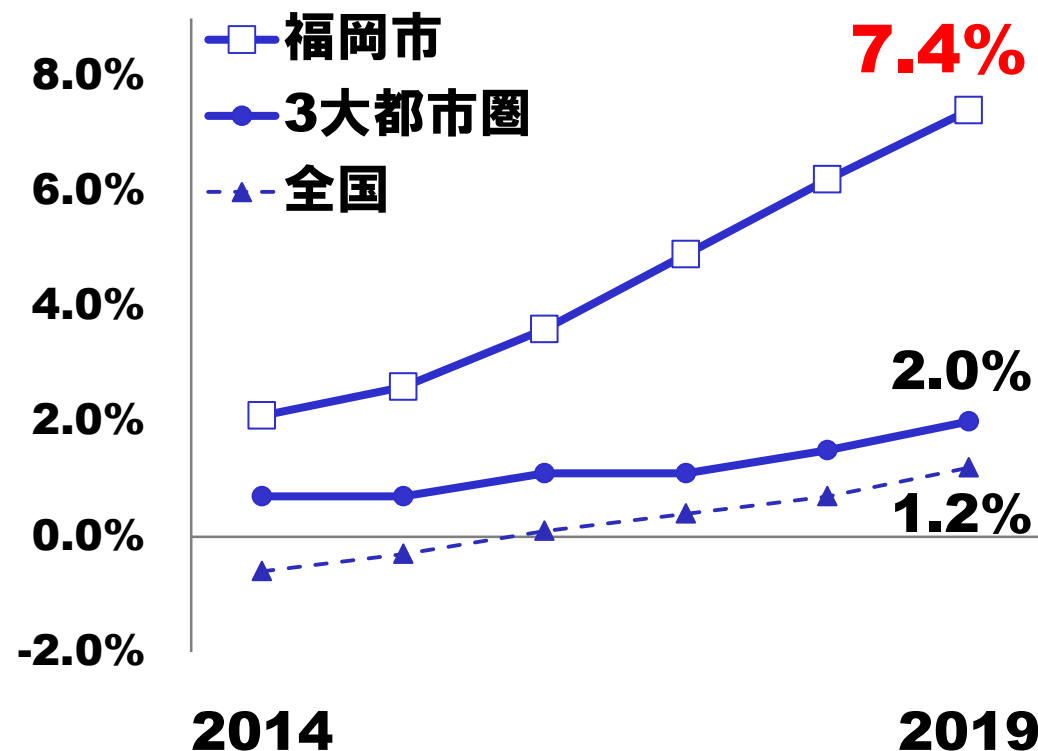
(単位：千人)



(出所) 福岡市

活況な不動産市況

地価上昇率推移



(出所) 国土交通省 10

福岡の可能性 ②

大型開発案件と新たな成長の芽（国家戦略特区）

■ 天神ビックバン（天神地区再開発）

10年間で **30棟** ビル建替
経済効果 **8,500億円**



（出所）福岡市

■ 福岡空港開発・博多コネクティッド

- ターミナル整備、民営化・滑走路増設



展望デッキイメージ

■ 創業支援



（外観：学校跡地を活用）



（スタートアップカフェ）

■ 成長可能性ランキング（対象100都市）

順位	ポテンシャルランキング
1	福岡県福岡市
2	鹿児島県鹿児島市
3	茨城県つくば市
4	愛媛県松山市
5	福岡県久留米市

（出所）野村総合研究所（131の指標を用いて総合的に分析） 11

個人・法人双方で、確固とした支持を獲得

個人のお客さま

■ お客さま 約 **576万人**

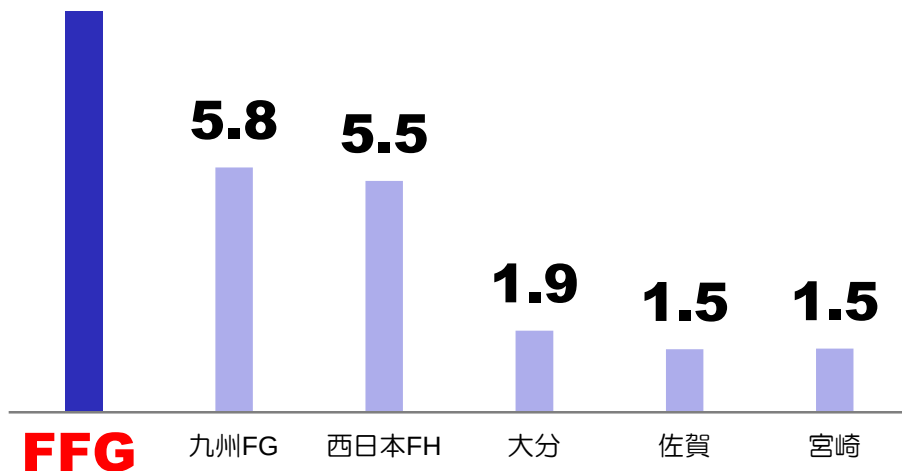
(九州人口の 44%)

(出所) 九州経済産業局調査を基にFFGにて算出

■ 個人預金残高 **九州地銀NO.1**

9.6

(単位：兆円)



(出所) 各行決算開示資料 (2019年3月末時点)

法人のお取引先

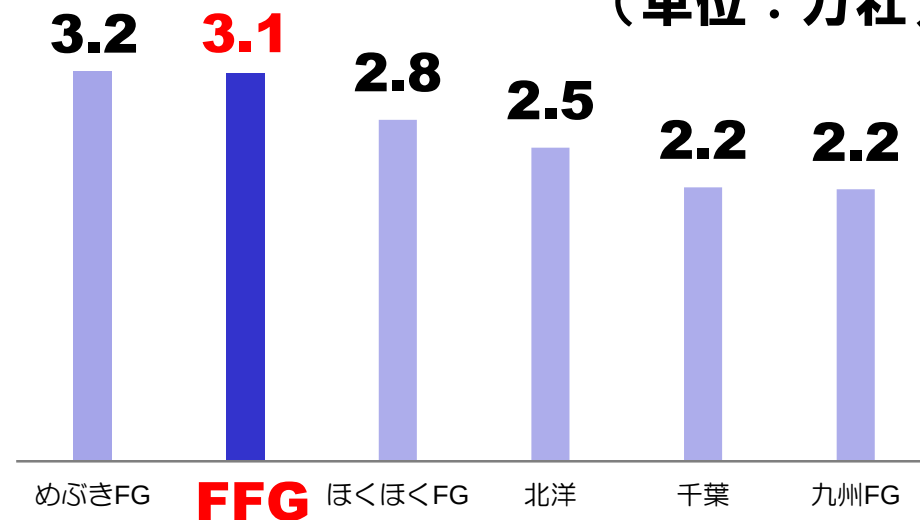
■ お取引先 約 **22万先**

(九州事業所数の 38%)

(出所) 総務省 統計局調査を基にFFGにて算出

■ メインバンク取引社数 **地銀2位**

(単位：万社)



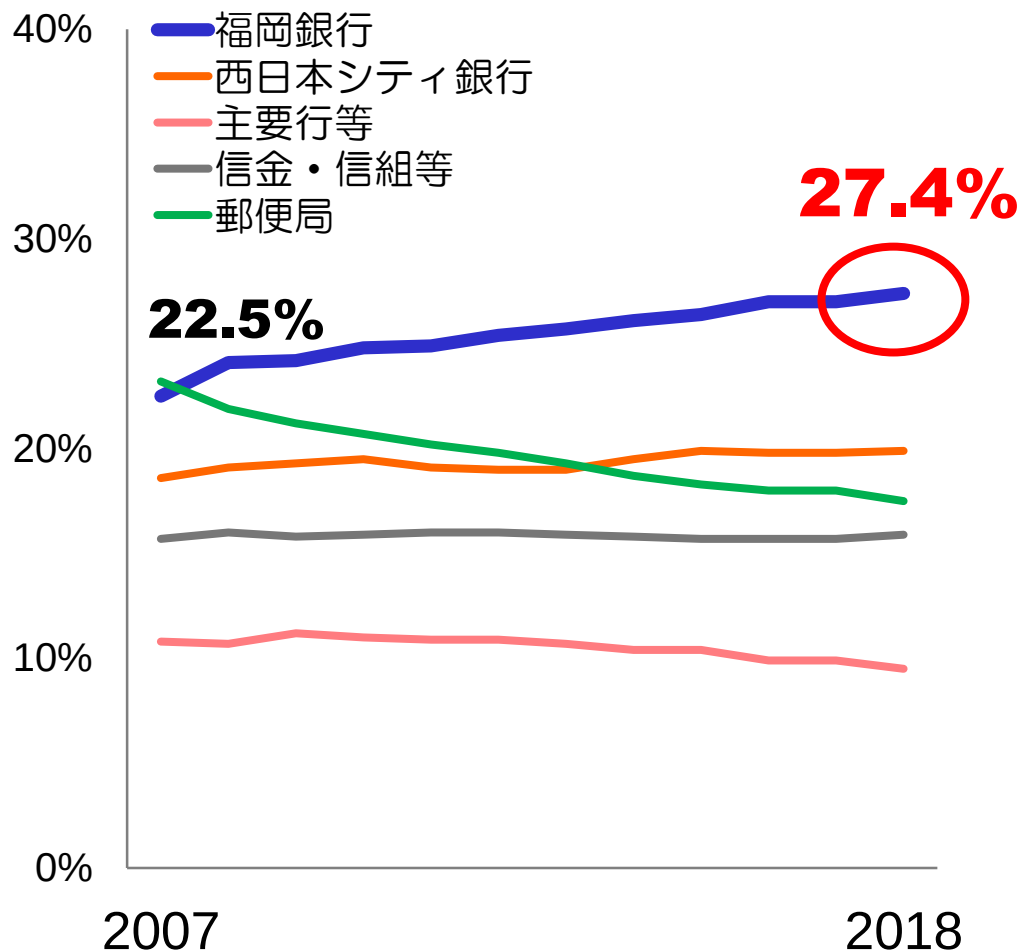
(出所) 東京商工リサーチ

※3行ベース (福岡銀行・熊本銀行・親和銀行) にて記載 12

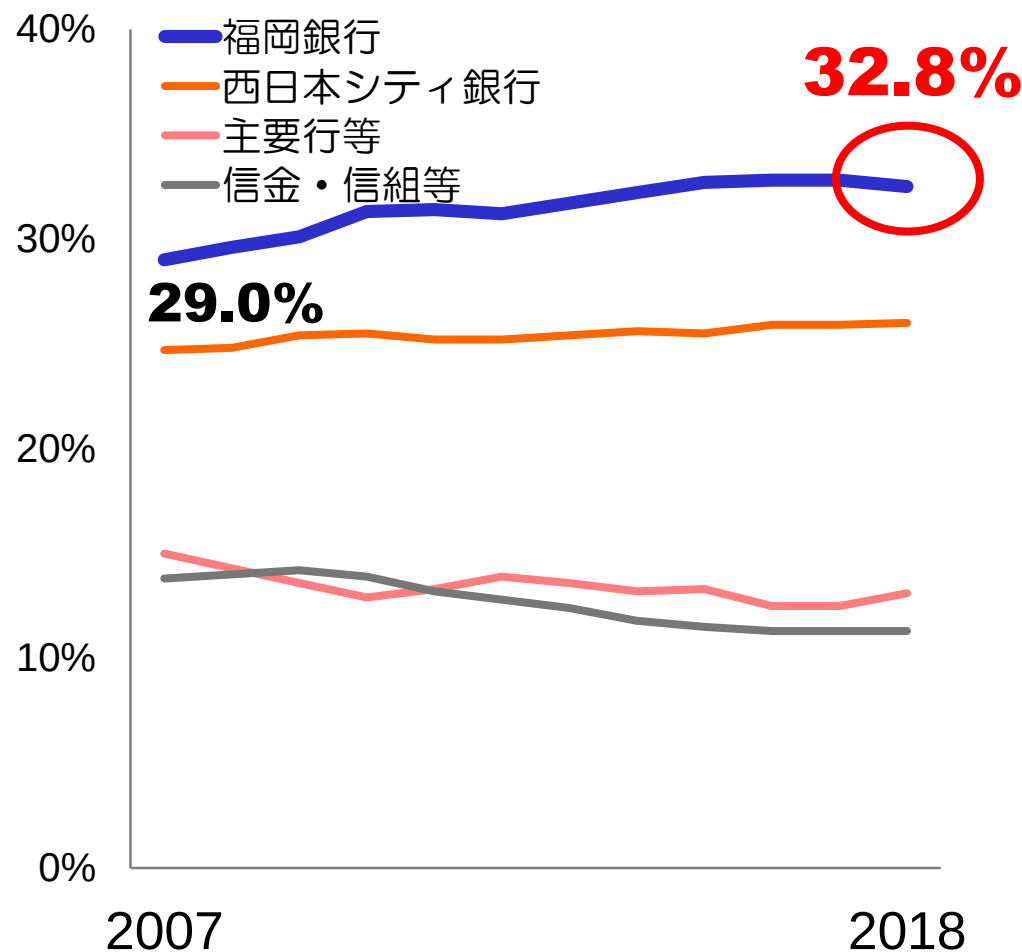
FFGの強み お客様さまとの取引状況 ② ～福岡県内シェア～

預金・貸出金ともに着実にシェアが増加（福岡銀行）

預金シェア（福岡県）



貸出金シェア（福岡県）



九州全域・国内主要都市に428拠点を展開 ATMは2,500台超



九州域外 支店10店舗

(参考) 地銀総資産上位10行平均267店舗

※十八銀行の店舗・ATMを含む

海外駐在員事務所8拠点（東アジア7・米国1）



多様なニーズに対応できるグループ機能と人財力



1. FFGの概要

P.1

2. FFGの強み

P.7

3. FFGの成長戦略

P.17

4. 業績予想・株主還元

P.27

5. 最後に

P.34

(参考資料)

P.39

経営環境の変化

■ 少子高齢化・人口減少

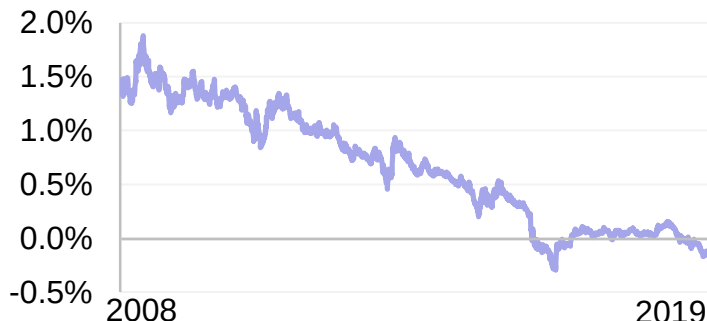
【九州域内の将来人口推計】



(出所) 国立社会保障・人口問題研究所

■ 低金利環境の長期化

【長期金利推移（10年国債利回り）】



■ ICTの発展・異業種の参入

LINE

Amazon

楽天

FFGの成長戦略

構造改革

■ 業務効率化（生産性向上）

- ・ 非効率な業務の廃止・削減
- ・ デジタル技術の活用

人財の投入

■ サービス高度化

- ・ 個人のお客さま/法人のお取引先
- ・ 新たな分野へのチャレンジ

十八銀行との経営統合

■ シナジー（相乗効果）の最大化

- ・ 相互ノウハウを活用したサービス展開
- ・ 効率化によるコスト削減

環境変化にも揺るがない持続的な成長を実現

構造改革～サービス高度化に向けた 業務効率化

主な取り組み

- 業務手順の抜本的な見直し
- タブレットの導入（ペーパーレス化）
- 営業店業務の本部集中化
- 自動化技術の活用
- 店舗レイアウトの見直し

etc



約2割の業務を効率化

サービス品質の
向上

- 個人のお客さま向けサービス
- 法人のお取引先向けサービス

etc

営業時間の拡大
人財の捻出

新しいサービスの
展開

- デジタル分野
- 新事業の検討・展開

etc

構造改革～サービス高度化 個人のお客さま（資産運用）

資産形成のサポート

お客さまのニーズ

- 将来を見据えたライフプランの策定
- 長期的な視点に基づく資産形成
- 専門家からの適切なアドバイス

お客さまの金融資産の推移



- ▶ 安定的な資産形成・資産管理をサポート
- ▶ ライフイベントに応じた最適なサービス

新しい営業スタイルの確立

ポートフォリオ営業の強化

取扱商品の拡充

人財力の強化

デジタル技術の活用

FFG証券

福岡を中心に21拠点を展開
十八銀行とも提携スタート



（参考）銀行との共同店舗 16拠点

■ 主な取扱商品（株式や債券などに対応）

株 式

NISAで株式運用！
ご相談お待ちしております。



国内上場株式



ETF（上場投資信託）



J-REIT（不動産投資信託）

投資信託

幅広いニーズに
お応えします。



国内投資信託



外貨建て投資信託



ファンドラップ[®]（法人様専用）

債 券

各種債券での
資産運用
にもお応えします。



個人向け国債



地方債



事業債



外貨建債券



仕組債

取引先の真の経営課題の解決

お取引先の経営課題

(出所：FFG調査)

M&A/成長戦略/経営企画/ITデジタル/人材不足 等

不動産/ビジネスマッチング 等 資金

約6割（時代の変化の中で多様化）



- ▶ 多様化する経営課題を解決
- ▶ 企業価値の向上をサポート

ソリューション営業の強化

M&A・事業承継

コンサルティング

**ストラクチャード
ファイナンス**

デジタル化支援・人材紹介

構造改革～サービス高度化 新たな分野①（ベンチャー支援）

FFGベンチャービジネスパートナーズ

従来の地銀系ベンチャーキャピタル
の枠に収まらない、スケールの大きな
ビジネスを展開

ベンチャー企業への投資実績（2019/6末）

投資先企業 **47社**
（内ファンド投資 **7先**）

投資総額 **約30億円**

〈投資の事例〉

人工衛星の開発



カイコを使った創薬



ドローンの研究開発



登山アプリの開発



地元大学との連携事業

□ 長崎大学ビジネスコンテスト

- ・ 長崎県の大学・自治体と連携し、地元の学生を対象に開催
- ・ 地元6行から31組・47名が参加

□ FFGインキュベーションプログラム

- ・ 九州大学とタッグを組み、大学の研究成果を基にしたベンチャー企業を創出を目的とする教育プログラム

□ FFGアントレプレナーシップセンター

- ・ 長崎大学の学生を主対象として、次世代のアントレプレナー（起業家）人材を育成する寄附講座を開設（2019年10月から）



ふくおかフィナンシャルグループ



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

構造改革～サービス高度化 新たな分野②（iBank事業）

iBank（アイバンク）事業

他行展開

金融機能と情報メディアを融合させた
お金管理アプリ『**Wallet+**（ウォレットプラス）』

残高照会

資産運用

ローン

収支管理

目的預金



クーポン

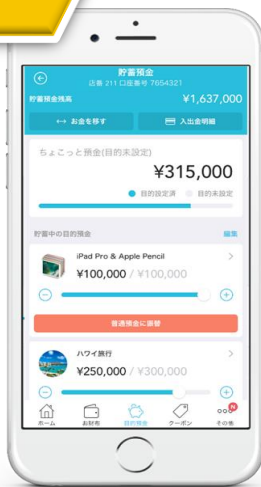
ポイントサービス

情報コンテンツ

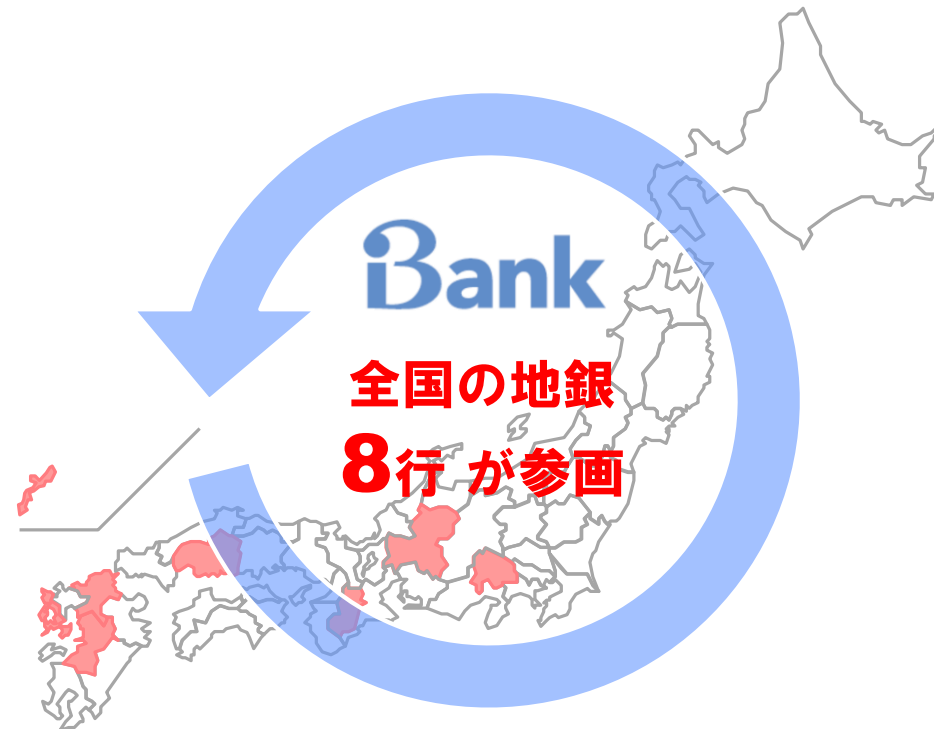
みえる

はじめる

かなえる



ありがとう
70万
ダウンロード！



ふくおかフィナンシャルグループ

福岡銀行

熊本銀行

親和銀行

① 沖縄銀行

広島銀行



十六銀行



南都銀行



山梨中央銀行

十八銀行との経営統合

統合の目的

経営体力を高めることで、将来にわたり安定的な資金供給をはじめとして長崎県経済の発展に貢献する役割を果たします

2019.4～

第6次中期経営計画

2022.4～

第7次中期経営計画

2019.4
経営統合

2020.10
合併

2021.1
システム統合

目指す姿

 親和銀行
 十八銀行

新銀行

 十八親和銀行

本部スリム化

店舗統廃合
システムコストの削減

長崎県経済の
発展に貢献する
お客さま満足度
No.1銀行

ノウハウ

ソリューション機能



グループ総合力を発揮

長崎に全力

持続的な成長に向けて

収益曲線イメージ

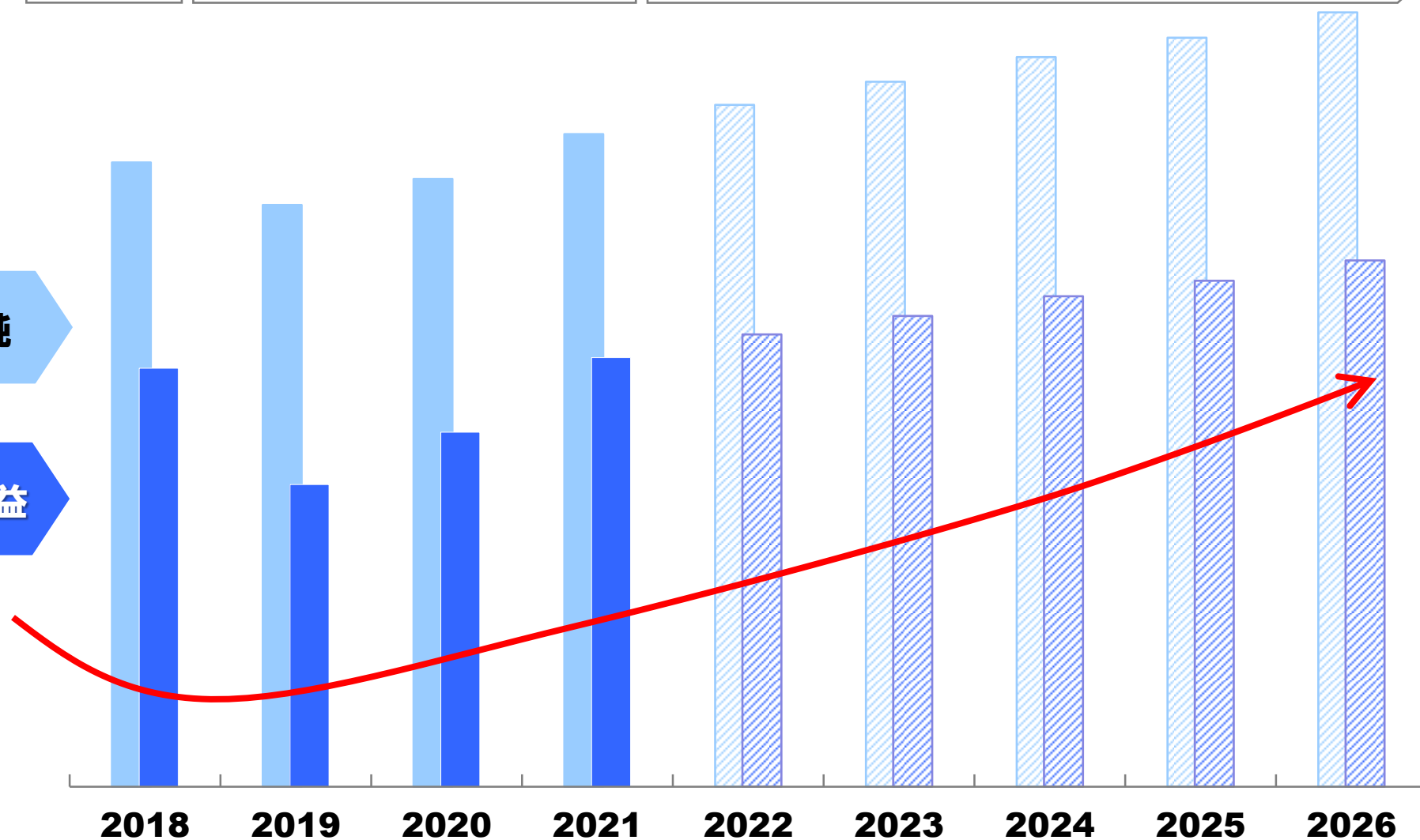
昨年度

第6次中期経営計画

第7次中期経営計画～

コア業純

当期純利益



1. FFGの概要

P.1

2. FFGの強み

P.7

3. FFGの成長戦略

P.17

4. 業績予想・株主還元

P.27

5. 最後に

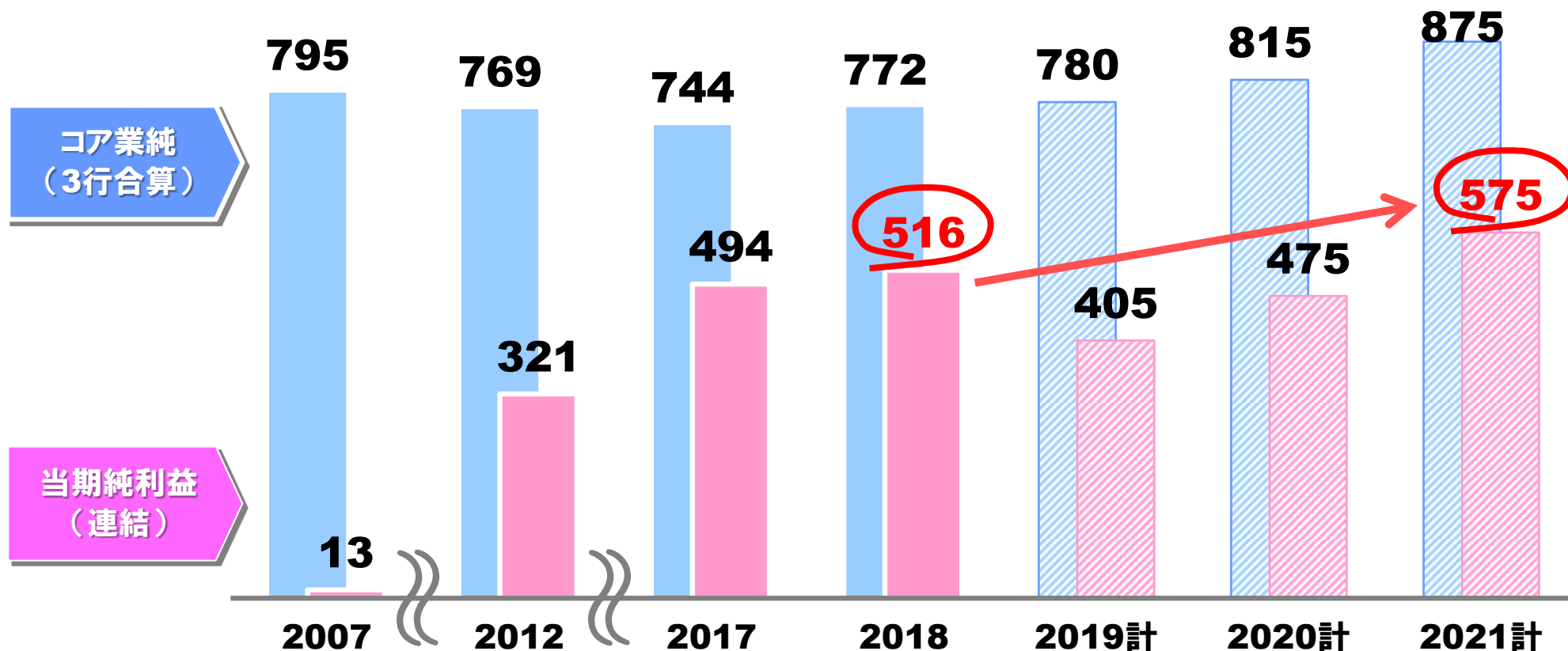
P.34

(参考資料)

P.39

- 2018年度は**FFG設立以降初となる500億円台**の過去最高益を計上
- 2019年度は統合費用もあり減益となるも、2021年度には**575億円**を見込む

(億円)



※ 2019年度は負ののれんを除く

「負ののれん」：十八銀行の時価に対し、FFGが取得した価格が低かったため発生した会計上の調整処理

配当方針

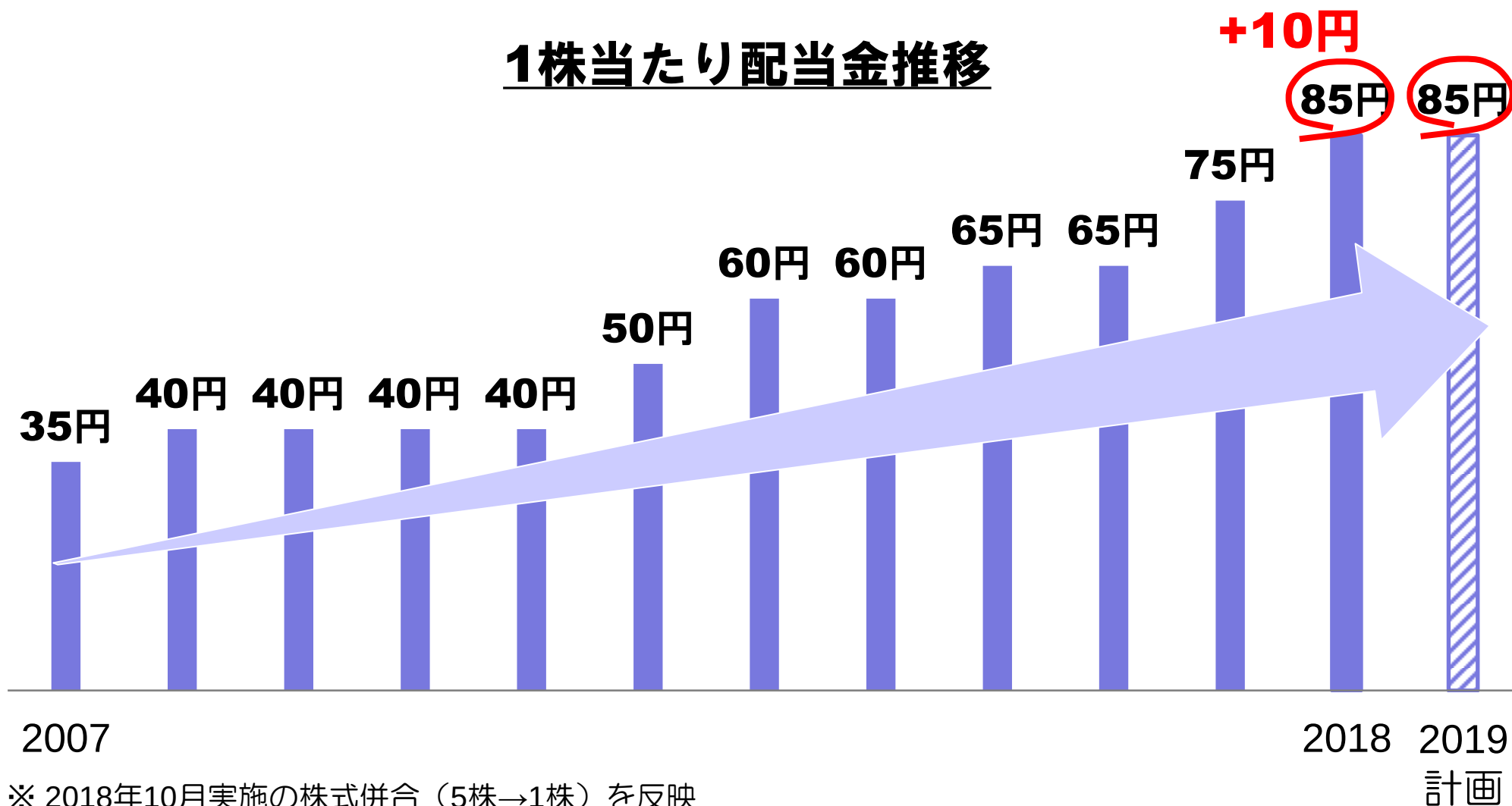
- 配当性向を30%程度から35%程度に引き上げ
- 当期純利益550億円以上ゾーンの配当額を新たに設定

配当金目安テーブル

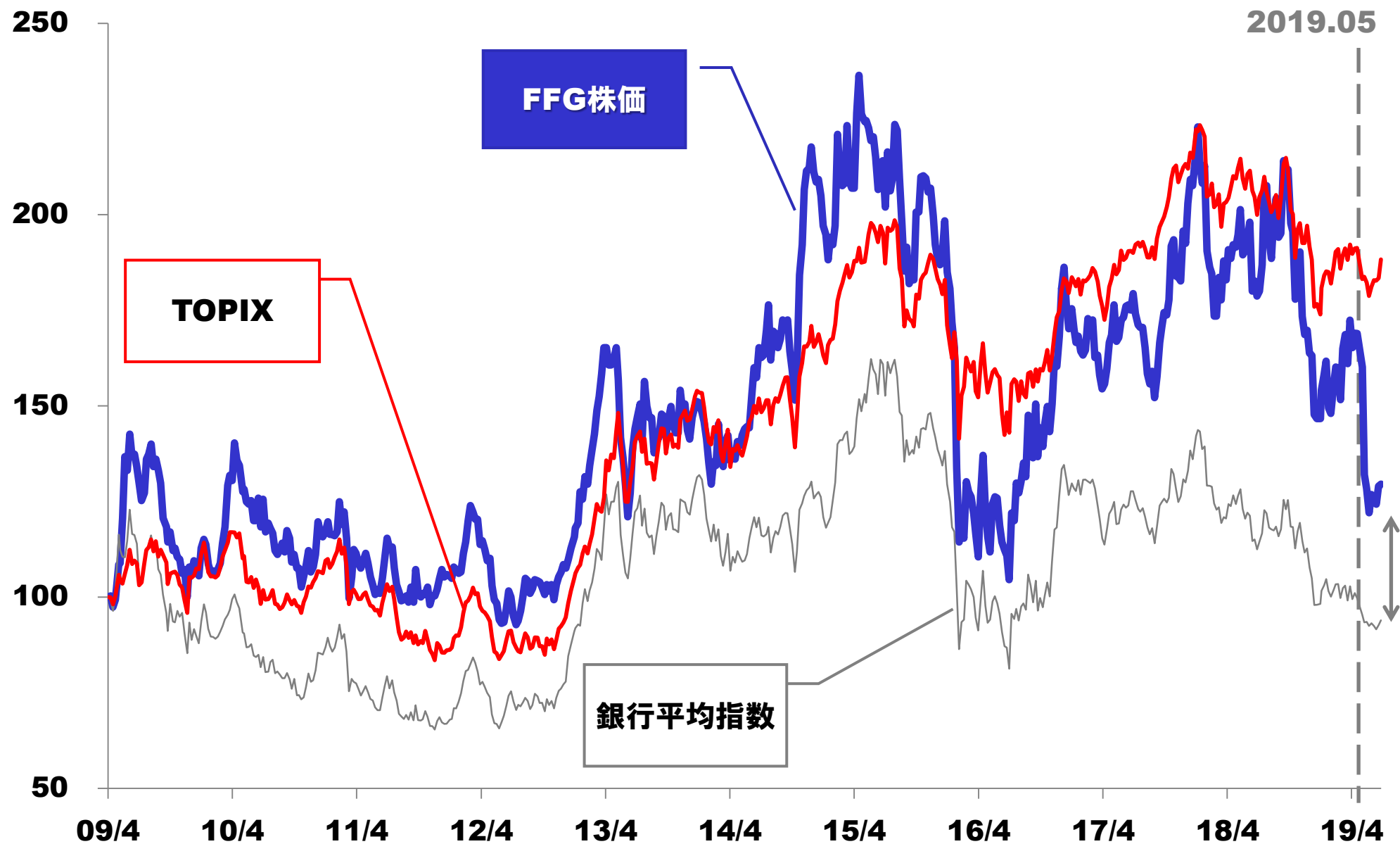
当期純利益	配当金	配当性向	(参考) 旧配当 テーブルとの対比
600億円以上	115円	～37%	今回より新設
550～600億円	105円	33～36%	+10円
500～550億円	95円	33～36%	+10円
450～500億円	85円	32～36%	+10円
400～450億円	75円	32～36%	+5円
350～400億円	65円	31～36%	変更なし
300～350億円	55円	30～35%	//
250～300億円	50円	32～38%	//
200～250億円	45円	34～43%	//
150～200億円	40円	38～51%	//
150億円未満	35円	45%～	//

安定的な利益成長による継続的な配当（維持・増配）を実現

1株当たり配当金推移



株価動向



※直近10年間の株価推移（2009年4月6日を100として指数化）

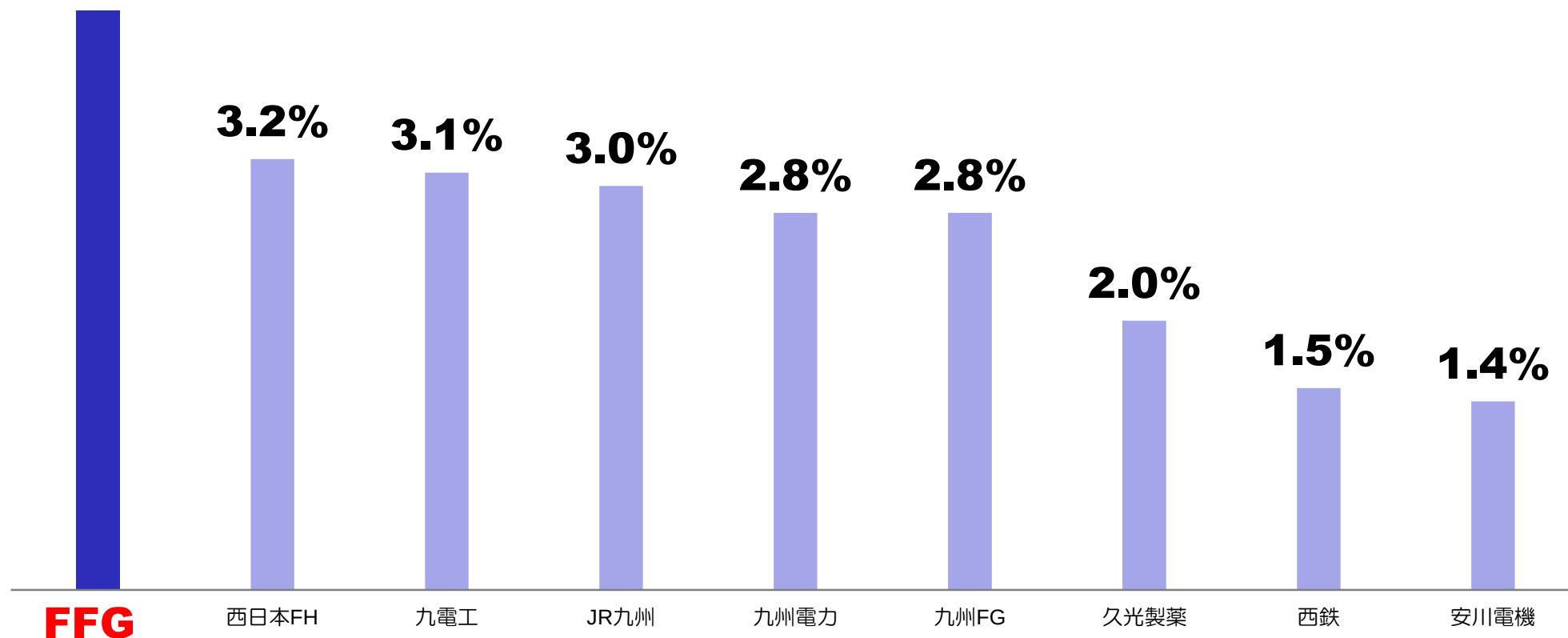
（出所：QUICK）31

予想配当利回り

九州の主要企業と比較しても、予想配当利回りは高水準

予想配当利回り

4.3%



※ 各社開示情報を基にFFGにて算出（算式：1株当たり年間配当予想額/2019年6月末時点株価終値）

株主優待

株主優待メニュー（6つのメニューから1つ選択）

定期預金 金利上乘せコース	お預入日の店頭表示金利に 年0.30% 上乘せ (預入期間6ヶ月、限度額300万円)
外貨定期預金 金利上乘せコース（米ドル）	お預入日の店頭表示金利に 年1.00% 上乘せ (預入期間6ヶ月、限度額3万米ドル)
外貨両替コース (上限100万円)	外貨両替手数料を 50% 割引
投資信託コース (上限5万円)	新たに投資信託口座の開設で 3,000円 をプレゼント 手数料合計額（税抜）を 全額 キャッシュバック
Debit+（デビットプラス） ポイントバックコース	デビットカード「Debit+」の登録で 3,000円 相当の ポイント「myCoin」をプレゼント
FFG証券コース (上限5万円)	新たに証券口座の開設等で 3,000円 をプレゼント 手数料合計額（税抜）を 全額 キャッシュバック

※ 対象となる株主さま（以下の2つの条件を満たされた株主様）

- ① 毎年3月31日現在において、当社株主名簿に200株以上（2018年9月30日以前は1,000株以上）の普通株式 保有と記載され、1年以上継続保有されている株主さま
- ② 当社と株式会社十八銀行との間の株式交換の結果、当社の普通株式を取得された株主さまのうち、2019年3月31日現在、当社または十八銀行の株式を1年以上継続保有されている株主さま

1. FFGの概要

P.1

2. FFGの強み

P.7

3. FFGの成長戦略

P.17

4. 業績予想・株主還元

P.27

5. 最後に

P.34

(参考資料)

P.39

環境共生活動

■ エコ・アクション、エコオフィス化



- エネルギー消費量の管理（各部店単位）
- 太陽光発電
- LED照明設置 等

■ 環境美化・リサイクル事業

- 清掃・植林・再資源化運動 等



（植林ボランティア）



（地域清掃活動）

地域イベント

■ 「ながさき物産展」の開催



■ 文化芸術・スポーツ活動

- 「FFGラグビーフェスタ」の開催
- 「3県交流コンサート」の開催 等



生涯学習支援

金融教育支援



(地元大学での出前授業) (振り込め詐欺セミナー)

次世代を担う子どもたちへ



(キッズキャンパス) (高校生ジョブシャドウ)

ダイバーシティの推進

- 女性活躍推進プロジェクト (2013年～)
- 復職支援制度、イクボスセミナー 等
- 企業内保育所の開設
- 男性社員の育児休業取得を促進



ーブランドスローガンー

あなたのいちばんに。

ふくおかフィナンシャルグループ お客さま本位の業務運営に関する取組方針

平成 29 年 6 月 29 日 制定

【目的】

本方針は、ふくおかフィナンシャルグループおよびグループ各社（以下、「当社グループ」といいます。）が、お客さまの安定的な資産形成を支援する金融商品に係る業務を運営するにあたり、お客さまの満足をお客さま本位で考え、お客さま一人ひとりに最も適した商品・サービスを提供するための基本的な考え方および具体的な取組方針を定めるものです。

【基本的な考え方】

当社グループは、「お客さまのいちばん身近にいたい」「いちばん頼れる存在でありたい」「期待に応えるためにいちばん先を行く銀行でありたい」という想いを込めたお客さまへの約束として、ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を掲げております。

- ブランドスローガン
あなたのいちばんに。
- コアバリュー（ブランドスローガンに込めたお客さまへの約束）

- ・いちばん身近な銀行
お客さまの声に親身に心から耳を傾け、対話し、共に歩みます。
- ・いちばん頼れる銀行
豊富な知識と情報を活かし、お客さま一人ひとりに最も適したサービスを提供します。
- ・いちばん先を行く銀行
金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けます。

このブランドスローガンのもと、当社グループは、お客さまの豊かな未来を創るため、単なる運用サポートにとどまらない、資産形成ニーズから保障、運用、保全、相続まで、お客さま一人ひとりのニーズに合ったコンサルティングでお応えする業務運営を展開してまいります。

ーコアバリューー

（ブランドスローガンに込めたお客さまへの約束）

いちばん身近な銀行

お客さまの声に親身に心から耳を傾け、対話し、共に歩みます。

いちばん頼れる銀行

豊富な知識と情報を活かし、お客さま一人ひとりに最も適したサービスを提供します。

いちばん先を行く銀行

金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けます。

コンプライアンス原典

信託銀行は、コンプライアンスを経営の最優先課題のひとつと位置づけ、企業価値の向上とコンプライアンス強化の促進・強化に努めてまいります。当行ならびに全関係会社は、この基本方針にその旨を加え、高い倫理観をもって日々の業務活動を遂行してまいります。

■ 銀行の職責

銀行の社会的存在と公共的使命の遂行に際し、健全かつ適切な業務運営を通じて、お客さまや社会からの信頼にかなう経営の発展を図ります。

■ 地域社会への貢献

お客さまの満足とお客さまの信頼を基に、お客さまのニーズに適合した質の高い金融サービスの提供を通じて、地域社会・国家の発展に貢献いたします。

■ 法令等の厳格な遵守

あらゆる法令やルールを厳格に遵守することにより、社会の信頼に値し、健全かつ適切な業務運営を遂行します。

■ 情報管理の徹底

お客さまに関する情報および業務上の秘密情報について、適切な管理と保護を徹底いたします。

■ 社会とのコミュニケーション

最も適切な情報開示を確保し、透明性の高い経営の発展に努めるとともに、関係者の理解を促し、広く社会とのコミュニケーションを行います。

■ 人材の登用

すべての人の夢を叶え、成長を促すとともに、日々の業務により人材育成を徹底し、人間性を育きとした企業文化を醸成します。

■ 反社会的勢力に対する対応

市民社会の秩序や安全に脅威を及ぼす反社会的勢力の排除に力を入れ、顧客としての地位を確立します。

■ 経営陣の率先垂範

経営陣および各部門の責任者は、本基本方針の徹底と実現することの重要性を認識し、率先垂範のうえ、グループ内に浸透を図ります。

本基本方針に反するよういふ事実が発生した場合は、自ら責任を負うべき立場を明らかにし、原因究明、再発防止に努めます。



- **地銀トップクラスの規模を有し、**
- **恵まれたマーケット（九州）で、**
- **FFG独自の強みを活かしつつ、**
- **サービス品質の向上に努めることで、**
- **地域とともに、持続的な成長を実現
してまいります**

1. FFGの概要

P.1

2. FFGの強み

P.7

3. FFGの成長戦略

P.17

4. 業績予想・株主還元

P.27

5. 最後に

P.34

(参考資料)

P.39

2018年度 決算

損益（3行単体合算）

（億円）

【公表比】	3行単体合算		福岡銀行（単体）		熊本銀行（単体）		親和銀行（単体）	
	FY18 実績	前年比	FY18 実績	前年比	FY18 実績	前年比	FY18 実績	前年比
業務粗利益	1,787	44	1,329	56	194	▲2	264	▲11
資金利益	1,562	37	1,147	38	179	3	235	▲3
国内部門	1,483	34	1,070	35	179	3	234	▲4
国際部門	79	3	77	3	1	0	1	0
非資金利益	225	7	182	18	14	▲4	29	▲7
役務等利益	193	▲26	153	▲13	14	▲4	27	▲8
特定・その他利益（債券除く）	21	5	19	5	1	0	2	0
債券関係損益	10	27	10	27	▲0	▲0	0	1
経費（△）	1,004	▲12	668	▲8	139	▲1	197	▲3
実質業務純益	783	55	661	64	55	▲1	67	▲8
一般貸倒引当金（△）	▲4	▲4	▲2	6	▲6	▲6	4	4
業務純益	786	59	662	58	61	5	63	▲12
コア業務純益	【+5】772	28	650	37	55	▲1	67	▲9
臨時損益	7	▲12	25	60	▲15	▲24	▲3	▲40
経常利益	【▲15】793	47	688	118	45	▲19	60	▲52
特別損益	▲6	4	▲3	3	▲0	▲0	▲3	1
税引前当期純利益	788	51	685	120	45	▲19	58	▲50
法人税等（△）	206	8	182	21	7	▲7	17	▲7
当期純利益	【▲3】582	43	503	99	38	▲12	41	▲44
信用コスト（△）	【▲25】38	68	21	8	8	17	9	43

※公表比は2018年11月12日公表の予想対比

損益（FFG連結）

【公表比】	FY18 実績	前年比
業務粗利益	1,931	42
実質業務純益	761	38
コア業務純益	750	10
経常利益	【▲14】741	25
連結当期純利益（※）	【▲4】516	23

連結調整

当期純利益（3行単体合算）	582
FFG単体	▲85
銀行子会社損益	33
その他連結調整	▲14
FFG連結当期純利益	516

Point 1 資金利益は前年比+37億円

- ▶ 利回り低下の影響を、貸出金ボリュームの増加や消費性ローンの積上げ、資金調達コストの削減等でカバー

Point 2 コア業務純益は772億円

- ▶ 前年比+28億円
- － 役務等利益は、投信販売手数料の減少を主因にマイナスとなったが、資金利益増加や経費削減が牽引し、前年比プラス
- ▶ 公表比+5億円
- － 役務等利益の計画比下ブレを資金利益や経費削減でカバー

Point 3 連結当期純利益は516億円

- ▶ 前年比+23億円
- － コア業務純益の前年比プラスに加え、退職給付費用の減少等により、前年比プラス
- － 2期連続で過去最高益を更新
- ▶ 公表比▲4億円
- － ほぼ計画どおりの着地

※親会社株主に帰属する当期純利益を指します

2019年度業績予想

(単位：億円)		4行単体合算									
				福岡銀行		熊本銀行		親和銀行		十八銀行	
		計画	前年比	計画	前年比	計画	前年比	計画	前年比	計画	前年比
資金利益	資金利益	1,788	▲31	1,148	2	177	▲3	221	▲15	242	▲16
	非資金利益	262	12	204	22	8	▲7	26	▲3	24	▲0
	役務等利益	209	▲9	155	2	7	▲7	24	▲3	23	▲2
経費 (△)		1,239	20	678	10	137	▲1	199	2	225	10
コア業務純益		780	▲59	645	▲5	47	▲8	47	▲19	41	▲26
当期純利益		472	▲151	490	▲13	27	▲11	14	▲27	▲59	▲100

FFG連結 当期純利益	1,585
負ののれんを 除くベース	405 ①
内、統合に伴う 一過性費用(△)	90 ②

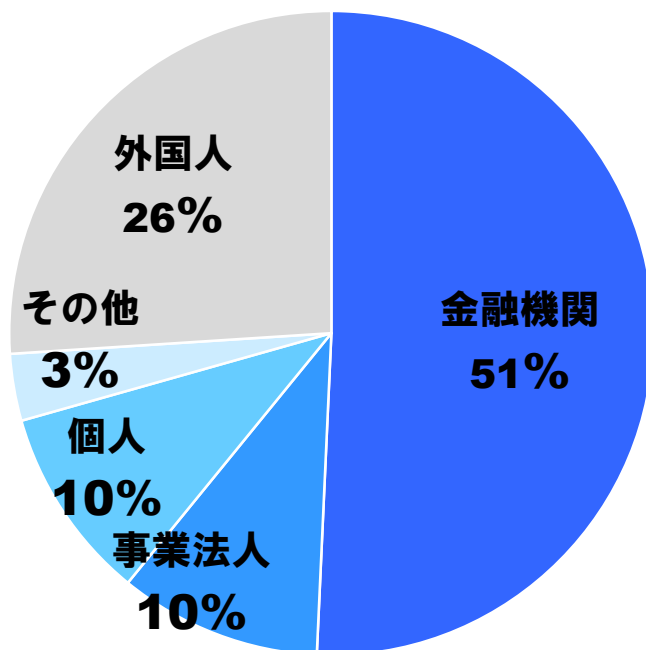
<参考> ① - ②

	計画	前年比
一過性要因を除く連結当期純利益	495	▲64

■ 株式情報

	普通株式
授権株式数	360,000,000
発行済株式数	171,952,373
株主数	18,437

■ 株主構成（普通株式）※株数ベース



■ 大株主

（2019年3月末現在）

（単位：千株、％）

上位株主	所有株数	比率
日本マスタートラスト信託銀行（信託口）	15,636	9.09
日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口）	13,097	7.61
日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口9）	6,546	3.81
日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口4）	3,625	2.11
日本生命保険	3,544	2.06
明治安田生命保険	3,544	2.06
住友生命保険	3,484	2.02
第一生命保険	3,463	2.01
日本トラスティ・サービス信託銀行（信託口5）	3,139	1.82
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	2,318	1.34

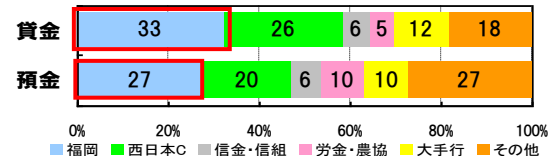
※比率は発行済株式総数に対する割合

■ 株式指標

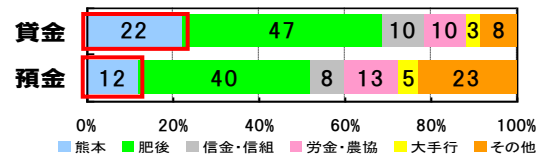
※FY18に株式併合（5株→1株）を実施（単位：円）

	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18
EPS	32.82	29.94	32.62	37.01	41.82	42.29	51.75	▲63.22	57.48	300.71
BPS	645	658	712	774	798	865	902	829	907	4,525
ROE	5.3%	4.6%	4.7%	4.9%	5.2%	5.1%	5.8%	▲7.3%	6.6%	6.6%
のれん一時償却除くベース								5.1%	（※）	

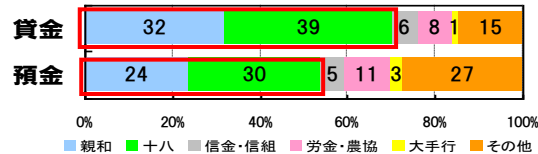
福岡県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	513万人	223千所	20.9兆円	35.3兆円



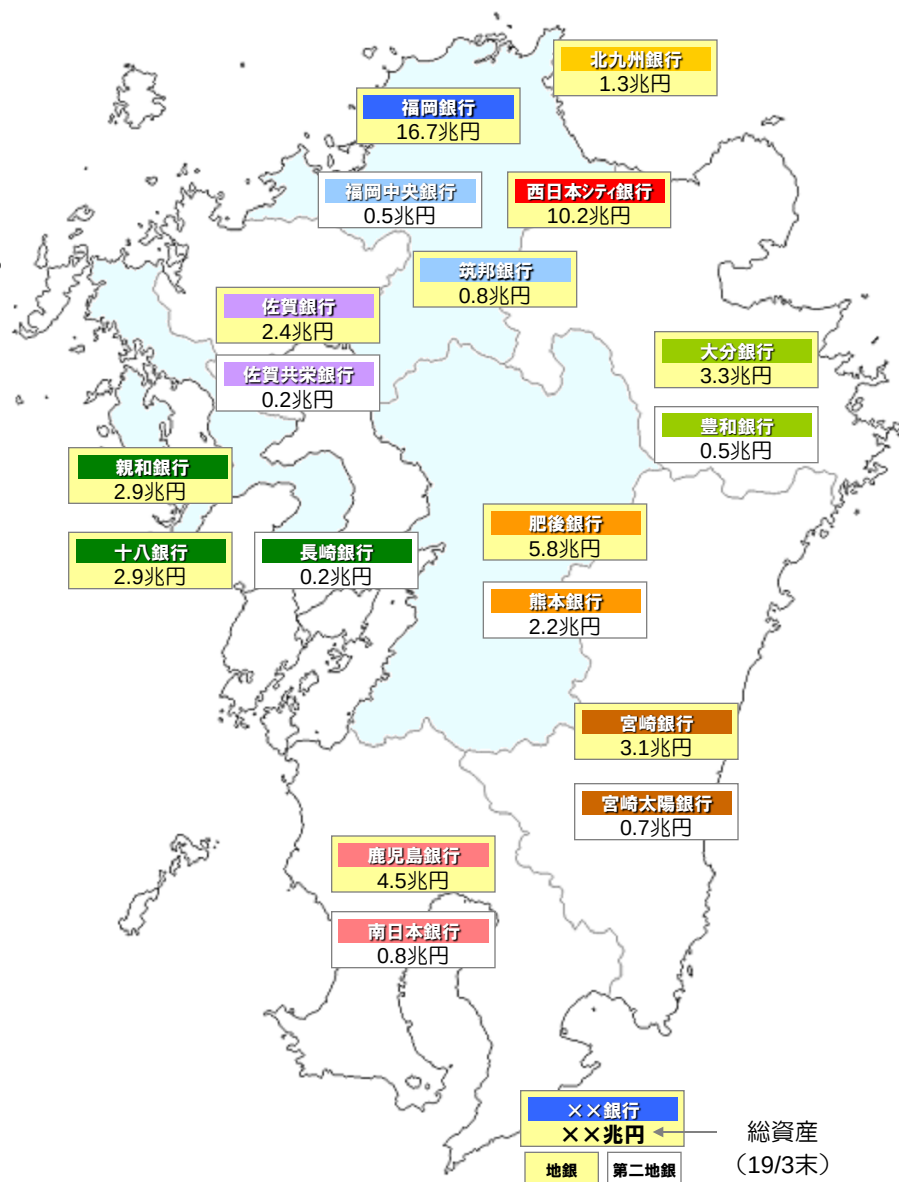
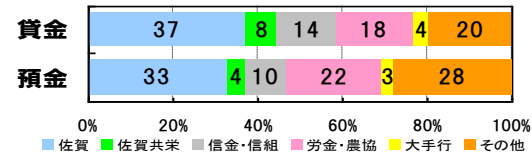
熊本県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	179万人	74千所	4.9兆円	11.2兆円



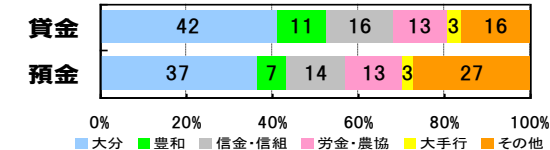
長崎県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	138万人	63千所	3.5兆円	8.2兆円



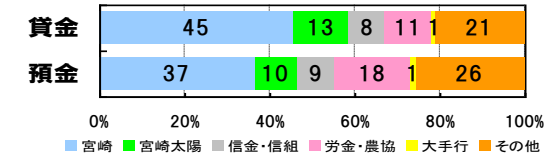
佐賀県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	83万人	38千所	1.9兆円	5.2兆円



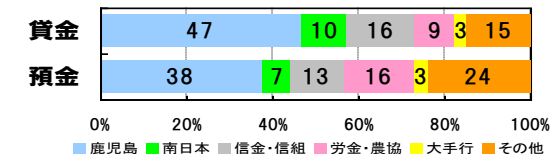
大分県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	117万人	54千所	3.3兆円	7.6兆円



宮崎県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	111万人	53千所	3.1兆円	6.0兆円



鹿児島県	人口	事業所	貸出金	預貯金
	166万人	77千所	4.8兆円	9.5兆円

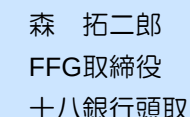
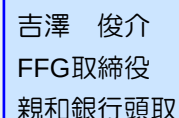
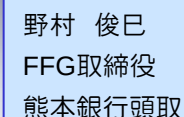
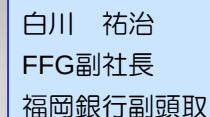
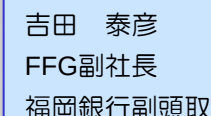
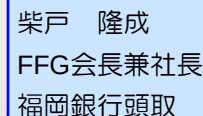
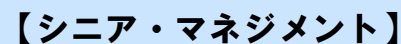


九州	人口	事業所	貸出金	預貯金
	1,307万人	583千所	42.6兆円	83.1兆円

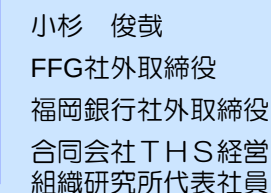
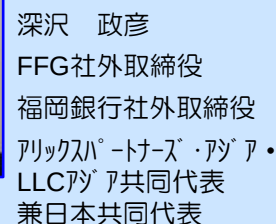
出所：金融ジャーナル「金融マップ2019年版」
総務省「28年経済センサス」

出所：各行決算開示資料

2019年4月1日現在



・ 社外取締役



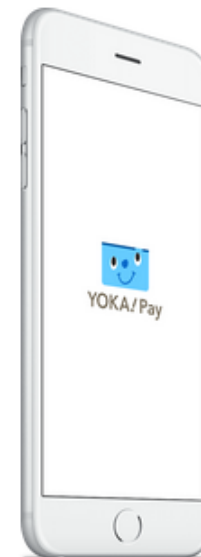
- 社外取締役は2006年に導入。
- 深沢氏は経営戦略や事業再生等のコンサルティング経験や専門的知見を有する専門家
- 小杉氏は組織改革や人材の育成・マネジメントの豊富な実務経験や専門的知見を有する専門家

スマートフォンアプリ① ~QRコード~

iBank「Wallet+」



YOKA!Pay



残高照会・振込等 アプリ



指紋認証等を使った
「かんたんログイン」に
対応しました！



福岡銀行↓



熊本銀行↓



親和銀行↓



福岡銀行↓



熊本銀行↓



親和銀行↓



LINEアカウント



ユーモと銀行員がオススメする九州！

じもとじるし



アカウント名「福岡銀行」



アカウントID : @fukuokabank

アカウント名「熊本銀行」



アカウントID : @kumamotobank

アカウント名「親和銀行」



アカウントID : @shinwabank

【照会先】

株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部 広報グループ

- **TEL** : 092 - 723 - 2255
- **E-mail** : ffg-ir@fukuoka-fg.com
- **H P** : <https://www.fukuoka-fg.com>

- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載された事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料に記述されている将来の業績予想等につきましては、経営環境の変化等に伴い、予想あるいは目標対比変化し得ることにご留意ください。
- なお、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに転写・複製し、又は第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。